



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,771	1.8	253	157.1	266	141.0	153	121.9
27年3月期第3四半期	4,687	△9.0	98	△54.8	110	△51.3	69	△48.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	18.53	—
27年3月期第3四半期	8.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	5,156	1,964	38.1	236.75
27年3月期	4,966	1,843	37.1	223.20

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,964百万円 27年3月期 1,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	2.50	—		
28年3月期（予想）				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,020	0.1	85	—	100	—	20	—	2.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	11,660,734株	27年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	3,361,980株	27年3月期	3,399,073株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	8,279,382株	27年3月期3Q	8,228,589株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による成長戦略に基づく経済対策や金融緩和による円安・株高が進行し、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では、消費税増税による個人消費への影響の長期化や海外経済動向など、先行きについては、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、4月に三重県の鈴鹿プラントが新たに本格稼働し、同敷地内にウォーターショップも開設しました。これにより製造設備が充実し、生産能力が向上すると共に営業拠点の拡充を図っております。また、ボトルのリターナブルによるTwo-Way方式の拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式においても注力し、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,771百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は253百万円(前年同期比157.1%増)、経常利益は266百万円(前年同期比141.0%増)、また四半期純利益は153百万円(前年同期比121.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、今後の安定的な収益の確保を図るため、幅広く顧客のニーズを把握し新規販売の強化・向上を目的として4月に大幅な担当エリアの変更を行いました。一時的に営業効率の低下や顧客とのコミュニケーションの充実に時間を要しましたが、第3四半期に入り遠赤寝具やギフトなどの季節商品の販売が増加し、売上高の回復傾向が見え始めました。一方顧客拡大を行うために上越営業所(新潟県)と久留米営業所(福岡県)の新規営業所を開設し営業基盤の拡大にも注力しました。

卸売部門においては、水素水などの飲料の販売活動に注力しスーパー等の量販店での販売数量が増加しました。また除菌消臭剤関連商品においては、「クイックシールド エアーマスク」「クイックシールド ポケット」が大手量販店やドラッグストア等で定番化され、9月から本格的に販売、出荷が始まりました。その結果、売上高は4,302百万円(前年同期比1.1%増)、セグメント利益252百万円(前年同期比214.7%増)となりました。

②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みましたが、鈴鹿新プラント稼働に伴う費用が増加しました。その結果、売上高は465百万円(前年同期比8.6%増)、セグメント利益0百万円(前年同期比95.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,684百万円となり、前事業年度末に比べ242百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加228百万円、現金及び預金の増加74百万円によるものであります。固定資産は2,471百万円となり、前事業年度末に比べ52百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の増加253百万円、有形固定資産のその他の減少312百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,156百万円となり、前事業年度末に比べ189百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,243百万円となり、前事業年度末に比べ164百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加230百万円、賞与引当金の減少73百万円によるものであります。固定負債は948百万円となり、前事業年度末に比べ95百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少86百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,191百万円となり、前事業年度末に比べ68百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,964百万円となり、前事業年度末に比べ120百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加111百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.1%(前事業年度末は37.1%)、1株当たり純資産額は236.75円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年10月23日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	969,362	1,044,010
受取手形及び売掛金	475,382	703,468
商品及び製品	335,102	351,559
委託商品	396,735	381,825
仕掛品	92	184
原材料及び貯蔵品	35,355	35,783
その他	234,815	174,179
貸倒引当金	△4,675	△6,716
流動資産合計	2,442,171	2,684,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	412,317	665,540
土地	1,303,487	1,303,487
その他(純額)	428,611	115,768
有形固定資産合計	2,144,416	2,084,796
無形固定資産	68,247	61,623
投資その他の資産		
前払年金費用	53,830	66,387
その他	262,687	263,530
貸倒引当金	△4,405	△4,471
投資その他の資産合計	312,112	325,447
固定資産合計	2,524,776	2,471,866
資産合計	4,966,947	5,156,160
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	398,035	628,764
短期借入金	790,000	830,000
1年内返済予定の長期借入金	173,976	217,268
未払法人税等	6,912	40,276
賞与引当金	158,030	84,495
返品引当金	29,892	8,087
その他	522,354	434,399
流動負債合計	2,079,200	2,243,291
固定負債		
長期借入金	595,998	509,235
退職給付引当金	134,634	137,047
資産除去債務	4,502	4,539
長期未払金	234,590	234,590
その他	74,055	62,742
固定負債合計	1,043,781	948,154
負債合計	3,122,981	3,191,445

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,747,239	1,858,997
自己株式	△1,020,561	△1,009,431
株主資本合計	1,831,868	1,954,755
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,097	9,959
評価・換算差額等合計	12,097	9,959
純資産合計	1,843,965	1,964,715
負債純資産合計	4,966,947	5,156,160

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
売上高	4,687,662	4,771,470
売上原価	1,646,607	1,577,495
売上総利益	3,041,055	3,193,974
販売費及び一般管理費	2,942,432	2,940,433
営業利益	98,622	253,541
営業外収益		
受取利息	55	56
受取配当金	1,924	1,991
受取家賃	9,580	12,720
事故保険金	3,335	1,556
その他	4,795	2,228
営業外収益合計	19,690	18,553
営業外費用		
支払利息	6,642	5,577
支払手数料	1,148	108
その他	0	0
営業外費用合計	7,791	5,686
経常利益	110,521	266,408
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,487
特別利益合計	—	6,487
特別損失		
固定資産除売却損	779	28
リース解約損	—	156
特別損失合計	779	184
税引前四半期純利益	109,742	272,711
法人税、住民税及び事業税	24,990	57,405
法人税等調整額	15,598	61,877
法人税等合計	40,588	119,283
四半期純利益	69,153	153,428

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,632,631	622,740	428,652	4,684,024	3,638	4,687,662
計	3,632,631	622,740	428,652	4,684,024	3,638	4,687,662
セグメント利益 又は損失(△)	227,529	△147,265	18,358	98,622	—	98,622

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,576,161	726,157	465,444	4,767,763	3,706	4,771,470
計	3,576,161	726,157	465,444	4,767,763	3,706	4,771,470
セグメント利益	251,763	866	912	253,541	—	253,541

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。